令和 4 年度 県立那珂高等学校自己評価表

学校像

- ・基本的生活習慣を確立し、自主性・自立性を育みながら、希望する進路を実現する学校(誠実) ・国際理解教育を推進し、異文化を理解し、グローバルな視点に立つ人材を育成し、地域社会に貢献する学校(進取) ・互いに尊重し合い切磋琢磨しながら、よりよく生きるための資質・能力を育てる学校(敬愛)

昨年度の成果と課題	重点項目	重点目標	達成状況
本校は、昭和60年に開校し、今年で 創立38年を迎えた。創立以来、校訓で	生徒の主体的な学びと確	① 授業時間の確保とRPDCAサイクルによる授業や学習指導法の改善	
ある「誠実・進取・敬愛」のもと「進	かな学力の定着を目指す	② 評価方法の工夫・改善	
路指導の充実」、「国際理解教育の推進」及び「特別活動の充実」を学びの	授業改善・学習評価の充実	③ 家庭学習の習慣化と時間増のため、学習方法の指導の工夫	A
三本柱に据え、日々の教育活動に取り		④ 主体的な学びにつながる課外授業の充実と積極的参加促進	
組んでいる。 新型コロナウイルス感染症の蔓延		⑤ 学校図書館・六葉館の積極的活用	
により、感染防止のため臨時休業措置	 高い目標へ向けた主体的	⑥ 進路意識の高揚を図るための発達段階に応じた進路指導	
がとられた中、対面とオンラインを組み合わせた学習と進路指導により、生			В
徒一人一人の個性及び目標を尊重した。	を含めた達成	⑧ 個別面談の質的・量的充実	D
た進路指導を推進した。 大学進学率は、昨年と比べ増加して	で百のに建成	回が面談の負む・量の元英 生徒の探究活動と関連した進路指導	
いるが、国公立大をはじめとする四年		生作の採売店期と関連した建設指导	
制大学への進学率をさらに増加させることが課題である。就職については	主体的で自律的な生活態	⑩ 基本的生活習慣の定着と規範意識の涵養	
ることが課題である。	度の確立	⑪ 進路と連携した生活指導の推進	A
できた。特に、公務員の合格が過去最高の延べ13人となるなど、良好な実績		② 教育相談による心のケアの充実	
一		③ 家庭や地域社会及び関係機関との密接な連携による問題解決	
を実現できる確かな学力を育成する ため、自主性・自立性を育み「主体的	 主体的で活力ある学校生	風 感染予防対策の徹底と、学校行事やホームルーム活動等への積極的な参加の促進	
・対話的で深い学び」の実現に向けた		⑤ 生徒会活動や各種委員会活動の活性化	A
授業改善の取り組みを一層推進していく。	10 -> ><->0	⑤ 工作公司等への積極的な参加の促進	11
いく。 さらに、部活動においては、活発な			
		① 主体的に探究活動に向かう姿勢の育成	

「開場を分かがう部も増えており、着実に表生をおけることができた。また、開かれた学校づくりに向けた上へページの光実等を行っているが 日本や外国の文化に対す 数有の促進 またまだかってはない。中学校を業 世本や外国の文化に対す 3	活動により 即	関東大会、全国大会への			1
上成果をあげることができた。 また、開かれた学校づくりに向けか 上へページの充実等を行っているが、 地域や地域の中学生 保護者への侵強				(18) キャリア・パスポートを適切に活用し、学びの蓄積と振り返りによる自己のキャリア	
□ 上本で外国の文化に対す 望 海外短期宿学や異文化理解活動の日滑な実施 地域や地域の中学生 (保護者への浸漬 はまだまだ十分ではない。中学校卒業 生後数減少の中、昨年度は、志願辞書 が1.00倍であたが、中学校教員、塾 超当者等への積極的な設明、情報発信 に努め、本年度は「志願者倍率」」/ 協 巻う改革の推進 ② 取員全体による勤務時間を意識した働き方の推進 ② 取員全体による勤務時間を意識した働き方の推進 ② 下のために、職員が個に応じた効果 的な教育活動が行える体制づくりを 行い、多様な造路希望の実現を図っていく。さらに、那珂市等の地域社会活動 動は穏極的に参酬するとともに、日頃 の学習成果と本校の魅力を広く周知 し、開かれた学校づくりに努める。 三つの方針 「「官皮を目指す資質・能力に関する方針」 (クラデュエーション・ポリシー) 「正つのが前 (スクール・ボ リシー) 「正つのが前 (スクール・ボ リシー) 「最会理程の相成及び実態に関する方針」 「後会理程の相成及び実態に関する方針」 「経済工程の相成及び実態に関する方針」 ・生徒が自主的に活動し、いきいきと学校生活を送ることができる活力ある多彩な特別活動を実践する。 ・生徒が自主的に活動し、いきいきと学校生活を送ることができる活力ある多彩な特別活動を実践する。 ・生徒が自主的に活動し、いきいきと学校生活を送ることができる活力ある多彩な特別活動を実践する。 ・外国課終業を海外人材との方流をとなまして国際理解数育を推進し、「異文化を正しく理解しクローバルな視点に立つ人材」を育成する ・生徒が自主的に活動し、いきいきと学校生活を送ることができる活力ある多彩な特別活動を実践する。 ・生徒が自主的に活動し、いきいきと学校生活を送ることができる活力ある多彩な特別活動を実践する。 ・外国課終業を海外人材との方流をとなまして国際理解数育を推進し、「属文化を正しく理解しクローバルが担点に立つ人				教育の促進	
一次のアナー・ボーリシー・ボーリシー・ 「言うの方針 (グアゲュエーション・ボリシー) 「医の音は、クロー・ボルンを視点を持つしたが、中学校で楽者を進して国際理解教育の推進に向けた取組の工夫 20 の育成	* * * * *	また、開かれた学校づくりに向けホーローなり目のカルにお		② 海州原地の学の田本ル理知ば斜の田温か事故	
はまだまだ+分ではない。中学校変異 生活整議使の中、昨年度は、志願倫率 が、1.03倍であったが、中学校教員、整 担当者等への積極的な説明、情報発信 に写め、本年度は「志願者俗帯1.1倍 働き方改革の推進 参方改革の推進 参表務の整理と効率化 A 行べ、多様な逃路希望の実現を図っている。さらに、那珂市等の地域社会活動に積極的に参画するとともに、目頃の学習成果と本校の魅力を欠くりを行い。多様などの情報を表で、個別し、関かれた学校づくりに努める。 三つの方針 「有成を目指す資質・能力に関する方針」 (グラテュニーション・ボリシー) 「直接合理程の構成及び実施に関する方針」 「後合課程の構成及び実施に関する方針」 「後合課程の構成及び実施に関する方針」 「後合課程の構成及び実施に関する方針」 「複合課程の構成及び実施に関する方針」 、「何のために学ぶのか」を意識させることで、自らの意志で進路を主体的に選択する資質・能力を育成する。 ・生徒が自主的に活動し、いきいきと学校生活を送ることができる活力ある多彩な特別活動を実践する。 ・外国辞科学を海外人材との交流をとおして国際理解教育を推進し、「異文化を正しく理解しクローバルな視点に立つ人 ・生徒が自主的に活動し、いきいきと学校生活を送ることができる活力ある多彩な特別活動を実践する。 ・外国辞科学を海外人材との交流をとおして国際理解教育を推進し、「異文化を正しく理解しグローバルが視点に立つ人	-	, , _ , ,		一個 一個	
生徒教蔵少の中、昨年度は、志願俗率が1.0緒であったが、中学校教貞、整規当者等への積極的な説明、情報発信(2努め、本年度は「志願者倍率1.1倍を1月標とする。			る関心・理解の深化と、	② 多様な交流事業等を通して国際理解教育の促進とグローバルな視点を持つ人材	В
が1.03倍であったが、中学校教員、数 担当者等への積極的な説明、情報発信 と努め、本年度は「志願者倍率1.1倍 を目標とする。 そのために、服員が個に応じた効果 的な教育活動が行える体制づくりを 行い、多様な漁路希望の実現を図っている。さらに、那項市等の地域社会活動に積極的に参画するとともに、11項 の学習改果と本校の魅力を広く周知 し、関かれた学校づくりに努める。 三つの方針 - 基本的生活習慣の確立により、生徒の自主性・自立性を育みながら、望ましい職業観を養うことで希望する進路を実現する。 ・国際理解教育を推進し、「異文化を正しく理解しグローバルな視点に立つ人材」を育成するとともに、地元の歴史・文化を重んじ地域社会と連携・協力する態度を養う。 ・互いに切磋琢磨するとともに思いやりの心を持ち他者と協働することにより、よりよく生きるための資質・能力を育てる方針」 「数含課程の稲成及び実施に関する方針」」。 ・生徒が自主的に活動し、いさいきと学校生活を送ることが、ごとな正しく理解し、「異文化を正しく理解し、「よりよく生きるための資質・能力を育てる方が」。 ・生徒が自主的に活動し、いさいきと学校生活を送ることができる活力ある多彩な特別活動を実践する。 ・外国誘導を学神体人材」、いさいきと学校生活を送ることができる活力ある多彩な特別活動を実践する。			 他者を尊重する能度の音	の育成	
担当者等への積極的な説明、情報発信 に努め、本年度は「志願者俗率1.1倍 像き方改革の推進 の目標とする。 そのために、職員が個に応じた効果 的な教育活動が行える体制づくりを 行い、多様な進路希望の実現を図って い。さらに、那両付等の地域社会活動に積極的に参画するとともに、日頃 の学習成果と本校の魅力を広く周知 し、関かれた学校づくりに努める。 三つの方針 「「音成を目指す資質・能力に関する方針」 (グラデュエーション・ボリシー) 「高力の方針 (スタール・ボ リシー) 「表育課程の福成及び実施に関する方針」 「教育課程の福成及び実施に関する方針」 「教育課程の福成及び実施に関する方針」 「教育課程の福成及び実施に関する方針」 「表方針」 「表方針」 ・生徒が自主的に活動し、いきいきと学校生活を送ることができる活力ある多彩な特別活動を実践する。 ・生徒が自主的に活動し、いきいきと学校生活を送ることができる活力ある多彩な特別活動を実践する。 ・外国無経業や海外人材との交流をとおして国際理解教育を推進し、「異文化を正して理解しクローバルな視点に立つ人材」を育成すると表し、地元の歴史・文化 ・生徒が自主的に活動し、いきいきと学校生活を送ることができる活力ある多彩な特別活動を実践する。 ・外国無経業や海外人材との交流をとおして国際理解教育を推進し、「異文化を正して理解しクローバルが視点に立つ人					
を目標とする。 そのために、職員が個に応じた効果的な教育活動が行える体制づくりを行い、多様な進路希望の実現を図っていく。さらに、那項市等の地域社会活動に積極的に参画するとともに、日頃の学習成果と本校の魅力を広く周知し、開かれた学校づくりに努める。 三つの方針 「育成を目指す資質・能力に関する方針」 「クラデュエーション・ポリシー) 「三のカ針」 (グラデュエーション・ポリシー) 「三のカ針」 (グラデュエーション・ポリシー) 「当の大針」 (グラデュエーション・ポリシー) 「高大針」 (グラデュエーション・ポリシー) 「高大針」 (グラデュエーション・ポリシー) 「高大りに切磋琢磨するとともに思いやりの心を持ち他者と協働することにより、よりよく生きるための資質・能力を育てる。 ・ 互いに切磋琢磨するとともに思いやりの心を持ち他者と協働することにより、よりよく生きるための資質・能力を育てる。 ・ 生徒が自主的に活動し、いきいきと学校生活を送ることができる活力ある多彩な特別活動を実践する。 ・ 外国話検業や海外人材との交流をとおして国際理解数音を推進し、「異文化を正し、理解し、グローバルが担点に立つ人			1 50	② コロナ禍の中での国際理解教育の推進に向けた取組の工夫	
を目標とする。 そのために、職員が個に応じた効果的な教育活動が行える体制づくりを行い、多様な進路希望の実現を図っていく。さらに、那項市等の地域社会活動に積極的に参画するとともに、日頃の学習成果と本校の魅力を広く周知し、開かれた学校づくりに努める。 三つの方針 「育成を目指す資質・能力に関する方針」 「クラデュエーション・ポリシー) 「三のカ針」 (グラデュエーション・ポリシー) 「三のカ針」 (グラデュエーション・ポリシー) 「当の大針」 (グラデュエーション・ポリシー) 「高大針」 (グラデュエーション・ポリシー) 「高大針」 (グラデュエーション・ポリシー) 「高大りに切磋琢磨するとともに思いやりの心を持ち他者と協働することにより、よりよく生きるための資質・能力を育てる。 ・ 互いに切磋琢磨するとともに思いやりの心を持ち他者と協働することにより、よりよく生きるための資質・能力を育てる。 ・ 生徒が自主的に活動し、いきいきと学校生活を送ることができる活力ある多彩な特別活動を実践する。 ・ 外国話検業や海外人材との交流をとおして国際理解数音を推進し、「異文化を正し、理解し、グローバルが担点に立つ人	に努め、本年月	度は「志願者倍率1.1倍」	働き方改革の推進	② 職員全体による勤務時間を意識した働き方の推進	
的な教育活動が行える体制づくりを行い、多様な進路希望の実現を図っていく。さらに、那珂市等の地域社会活動に積極的に参画するとともに、日頃の学習成果と本校の魅力を広く周知し、開かれた学校づくりに努める。 三つの方針 - 基本的生活習慣の確立により、生徒の自主性・自立性を育みながら、望ましい職業観を養うことで希望する進路を実現する。 「育成を目指す資質・能力に関する方針」 (グラデュエーション・ポリシー) 「三つの方針」 (グラデュエーション・ポリシー) 「三つの方針」 (スクール・ボ リシー) 「教育課程の編成及び実施に関する方針」 (クラデュエーション・ポリシー) 「教育課程の編成及び実施に関する方針」 (クラデュエーション・ポリシー) 「教育課程の編成及び実施に関する方針」 (クラデュエーション・ポリシー) 「教育課程の編成及び実施に関する方針」 (クラデュエーション・ポリシー) 「教育課程の編成及び実施に関する方針」 (クローバルな視点に立つ人材」を育成するとともに、地元の歴史・文化を重めて地域社会と連携・協力する態度を養う。 ・互いに切磋琢磨するとともに思いやりの心を持ち他者と協働することにより、よりよく生きるための資質・能力を育てる。 ・「何のために学ぶのか」を意識させることで、自らの意志で進路を主体的に選択する資質・能力を育成する。・生徒が自主的に活動し、いきいきと学校生活を送ることができる活力ある多彩な特別活動を実践する。・外国語授業や海外人材とのを流をとおして国際理解教育を推進し、「異文化を正しく理解しがローバルが視点に立つ人	を目標とする。			◎ 米水 ○ 耕田 1 村 本川・	
行い、多様な進路希望の実現を図っていく。さらに、那珂市等の地域社会活動に積極的に容動するとともに、日頃の学習成果と本校の魅力を広く周知し、開かれた学校づくりに努める。 三つの方針 「育成を目指す資質・能力に関する方針」 (グラデュエーション・ポリシー) 「三つの方針」 (スクール・ボ リシー) 「教育課程の編成及び実施に関する方針」 (教育課程の編成及び実施に関する方針) (ショウスカー・ボール・ボール・ボール・ボール・ボール・ボール・ボール・ボール・ボール・ボー				図 美務の整理と効率化	
いく。さらに、那珂市等の地域社会活動に積極的に参画するとともに、日頃 の学習成果と本校の魅力を広く問知 し、開かれた学校づくりに努める。 三つの方針 「育成を目指す資質・能力に関する方針」 (グラデュエーション・ボリシー) 「三つの方針」 (スクール・ボ リシー) 「教育課程の編成及び実施に関する方針」 「別のために学ぶのか」を意識させることで、自らの意志で進路を主体的に選択する資質・能力を育成する。 ・生徒が自主的に活動し、いきいきと学校生活を送ることができる活力ある多彩な特別活動を実践する。 ・外国語授業や海外人材との交流をとおして国際理解教育を推進し、「異文化を正しく理解し、グローバルが視点に立つ人					Α
動に積極的に参画するとともに、日頃 の学習成果と本校の魅力を広く周知 し、開かれた学校づくりに努める。 三つの方針 「育成を目指す資質・能力に関する方針」 「予デュエーション・ポリシー) 「整育課程の編成及び実施に関すると 「教育課程の編成及び実施に関する方針」 「関文化を正しく理解しがローバルが視点に立つ人					
の学習成果と本校の魅力を広く周知し、開かれた学校づくりに努める。 三つの方針 「育成を目指す資質・能力に関する方針」 (グラデュエーション・ポリシー) 「三つの方針」 (スクール・ボ リシー) 「教育課程の編成及び実施に関する方針」 ・ 生徒が自主的に活動し、いきいきと学校生活を送ることができる活力ある多彩な特別活動を実践する。 ・ 生徒が自主的に活動し、いきいきと学校生活を送ることができる活力ある多彩な特別活動を実践する。 ・ 外国語授業や海外人材との交流をとおして国際理解教育を推進し、「異文化を正しく理解しがローバルな視点に立つ人材」を育成するとともに、地元の歴史・文化を重んじ地域社会と連携・協力する態度を養う。 ・ 「何のために学ぶのか」を意識させることで、自らの意志で進路を主体的に選択する資質・能力を育成する。 ・ 生徒が自主的に活動し、いきいきと学校生活を送ることができる活力ある多彩な特別活動を実践する。 ・ 外国語授業や海外人材との交流をとおして国際理解教育を推進し、「異文化を正しく理解し、「異文化を正しく理解し、「日本文化を正し、日本文化・日本文化・日本文化・日本文化・日本文化・日本文化・日本文化・日本文化・	-				
具体的目標	*****				
・基本的生活習慣の確立により、生徒の自主性・自立性を育みながら、望ましい職業観を養うことで希望する進路を実現する。 ・国際理解教育を推進し、「異文化を正しく理解しグローバルな視点に立つ人材」を育成するとともに、地元の歴史・文化を重んじ地域社会と連携・協力する態度を養う。 ・互いに切磋琢磨するとともに思いやりの心を持ち他者と協働することにより、よりよく生きるための資質・能力を育てる。 ・「何のために学ぶのか」を意識させることで、自らの意志で進路を主体的に選択する資質・能力を育成する。 ・生徒が自主的に活動し、いきいきと学校生活を送ることができる活力ある多彩な特別活動を実践する。・外国語授業や海外人材との交流をとおして国際理解教育を推進し、「異文化を正しく理解しグローバルな視点に立つ人		学校づくりに努める。			
する。 - 「育成を目指す資質・能力に関する方針」 (グラデュエーション・ポリシー) ・ 国際理解教育を推進し、「異文化を正しく理解しグローバルな視点に立つ人材」を育成するとともに、地元の歴史・文化を重んじ地域社会と連携・協力する態度を養う。 - 近いに切磋琢磨するとともに思いやりの心を持ち他者と協働することにより、よりよく生きるための資質・能力を育てる。 - 「何のために学ぶのか」を意識させることで、自らの意志で進路を主体的に選択する資質・能力を育成する。 - 生徒が自主的に活動し、いきいきと学校生活を送ることができる活力ある多彩な特別活動を実践する。 - 外国語授業や海外人材との交流をとおして国際理解教育を推進し、「異文化を正しく理解しグローバルが視点に立つ人	三つの方針		具体的目標		
「育成を目指す資質・能力に関する方針」 (グラデュエーション・ポリシー) ・国際理解教育を推進し、「異文化を正しく理解しグローバルな視点に立つ人材」を育成するとともに、地元の歴史・文化を重んじ地域社会と連携・協力する態度を養う。 ・互いに切磋琢磨するとともに思いやりの心を持ち他者と協働することにより、よりよく生きるための資質・能力を育てる。 ・「何のために学ぶのか」を意識させることで、自らの意志で進路を主体的に選択する資質・能力を育成する。 ・生徒が自主的に活動し、いきいきと学校生活を送ることができる活力ある多彩な特別活動を実践する。・外国語授業や海外人材との交流をとおして国際理解教育を推進し、「異文化を正しく理解し、グローバルが視点に立つ人			· 基本的生活習慣の)確立により、生徒の自主性・自立性を育みながら、望ましい職業観を養うことで希望す	る進路を実現
「育成を目指す資質・能力に関する方針」 (グラデュエーション・ポリシー) ・国際理解教育を推進し、「異文化を正しく理解しグローバルな視点に立つ人材」を育成するとともに、地元の歴史・文化を重んじ地域社会と連携・協力する態度を養う。 ・互いに切磋琢磨するとともに思いやりの心を持ち他者と協働することにより、よりよく生きるための資質・能力を育てる。 ・「何のために学ぶのか」を意識させることで、自らの意志で進路を主体的に選択する資質・能力を育成する。 ・生徒が自主的に活動し、いきいきと学校生活を送ることができる活力ある多彩な特別活動を実践する。 ・外国語授業や海外人材との交流をとおして国際理解教育を推進し、「異文化を正しく理解しグローバルな視点に立つ人			する		
「三つの方針」 (スクール・ポリシー) を重んじ地域社会と連携・協力する態度を養う。 ・互いに切磋琢磨するとともに思いやりの心を持ち他者と協働することにより、よりよく生きるための資質・能力を育てる。 ・「何のために学ぶのか」を意識させることで、自らの意志で進路を主体的に選択する資質・能力を育成する。 ・生徒が自主的に活動し、いきいきと学校生活を送ることができる活力ある多彩な特別活動を実践する。 ・外国語授業や海外人材との交流をとおして国際理解教育を推進し、「異文化を正しく理解しがローバルが視点に立つ人		「育成を目指す資質・能力に	関計		
を重んじ地域社会と連携・協力する態度を養う。		る方針」	・ 国際理解教育を推	進し、「異文化を正しく理解しグローバルな視点に立つ人材」を育成するとともに、地元	の歴史・文化
(スクール・ポ		(グフデュエーション・ボリシ	を重んじ地域社会	と連携・協力する態度を養う。	
(スクール・ポ すい) る。 ・「何のために学ぶのか」を意識させることで、自らの意志で進路を主体的に選択する資質・能力を育成する。 ・生徒が自主的に活動し、いきいきと学校生活を送ることができる活力ある多彩な特別活動を実践する。 ・外国語授業や海外人材との交流をとおして国際理解教育を推進し、「異文化を正しく理解し、グローバルな視点に立つ人	「三つの方針」		・石いに切磋琢磨す	-スとともに思いやりの心を持ち他者と協働することにより、よりよく生きるための資質。	• 能力を育て
・「何のために学ぶのか」を意識させることで、自らの意志で進路を主体的に選択する資質・能力を育成する。 ・生徒が自主的に活動し、いきいきと学校生活を送ることができる活力ある多彩な特別活動を実践する。 ・外国語授業や海外人材との交流をとおして国際理解教育を推進し、「異文化を正しく理解しグローバルな視点に立つ人	(スクール・ポ			SEE OFFICE COMBY SEEFERS, SYSTEMS, SEEFERS	品がと同く
・生徒が自主的に活動し、いきいきと学校生活を送ることができる活力ある多彩な特別活動を実践する。	リシー)			のか」を音響させることで、自らの音声で進敗を主体的に選択する姿質・能力を育成する	
「教育課程の編成及び実施に関す ・外国語授業や海外人材との交流をとおして国際理解教育を推進し、「異文化を正しく理解しグローバルな視点に立つ人					0
・外国語授業や海外人材との交流をとおして国際理解教育を推進し、「異文化を正しく理解しグローバルな視点に立つ人」		「教育課程の編成及び実施に	・生徒が自主的に活	動し、いきいきと学校生活を送ることができる活力ある多彩な特別活動を実践する。	
		る方針」	・ 外国語授業や海外	人材との交流をとおして国際理解教育を推進し、「異文化を正しく理解しグローバルな	視点に立つ人
材」を育成する。		(// / 1 4 / 4 / 4 / 4 / 7 / 7			
・家庭や地域社会、学校間で連携、協働するなど、学校外の資源を活用した学校教育活動を充実させる。				学校間で連携 協働するなど 学校外の資源を活用した学校教育活動を充実させる	

		「入学者の受入れに関する」 (アドミッション・ポリシー		.取り	組む	意欲のある生徒
評項		具体的目標	具体的方策		価	次年度(学期)への主な課題
		・「生徒自ら考える」授業を	・シラバスや学習指導計画に基づいて、学習内容と進度を適切なものとする。	A		・資質・能力の三つの柱(「知
孝	女	展開し、基礎力の定着と応用	・各種調査の結果を踏まえ、科目の特性に応じた効果的な学習方法を指導する。	A		識及び技能」、「思考力、判断
乖	4	力を育成する。	・少人数授業(国数英)の他、様々な授業形態を工夫して、生徒一人一人によりきめ細かい	A		力、表現力等」、「学びに向か
指	Í		指導を実施し、レベルに応じて学力を向上させる。		A	う力、人間性等」)、をバラン
瘴	争		・課外授業を充実し、生徒を積極的に参加させる。	A		スよく育成するための学習ツー
			・苦手科目の早期発見、早期改善に努める。	A		ルとして、ICTを活用することに
	1					よる更なる授業改善。
		・文学的な教材 (特に小説)	・国語の基礎学力となる漢字力と語彙力を身につけるために、積極的に辞書を引かせ、定着	A		・個人での学習習慣と、基礎学
		と論理的な教材(特に評論)	させるテスト等を行う。			力の定着。
		を中心に学び、現代文を読解	・課題等を工夫することにより、予習・授業・復習の学習サイクルを確立させる。	В		・ICTを活用した授業の工夫、教
	国	する力を養う。	・「話す・聞く能力」「書く能力」「読む能力」を磨き、具体的に自己表現できる力を身に	A	Α	科内での情報共有。
	語	・価値の高い古典教材を学ぶ	つけることができるようにする。			
		ことにより、国際社会に通用	・読書週間に向けて、自主的に選書し読書する習慣をつくる。			
教		する、自国の文化と伝統につ		A		
科		いて考察と理解を深める。				
	地	・基礎学力の向上に努める。	・自作プリント等を活用し、授業で扱いテーマへの理解を深める。	В		・ICT利用においての双方向活用。
	歴	・歴史的・地理的事象に対す	・身近な素材を教材化し、図説資料や視覚教材などを効果的に用いることで、興味関心を高	A		・学力差の拡大化に伴う学習の
	公	る関心を高め. 自発的思考力	める。		В	焦点のあて方。
	民	を育てる。	・新聞などを活用し、生徒に国際社会や政治・経済への関心を高める。	В		・単位数の少ない新課程科目の

・地域や現代社会の諸問題に関心を持ち、積極的に探究しようという意欲のある生徒

		・現代の社会への関心を高め、				実施方法の工夫。
		自発的思考力を育てる。				
		・基礎学力の向上を図る。	・授業や教材における基礎・基本と応用の配分に配慮しつつ、進度を適切なものとする。	A		・ICT機器の活用方法。
		・数学のよさを認識させ、積	・学習内容の定着を図るための方策を徹底する。 (授業展開、課題、小テスト等)	A		・観点別学習状況の評価の研究
	数	極的に活用する態度、判断力			A	・学力が低い生徒への対応の工
	学	を育てる。	・課外授業により学力上位層の実力を養成する。	В		夫。
			・少人数指導によるきめ細かな指導を行い、その成果と課題を明確にし、基礎学力の向上を	A		
			図る。			
		・基礎学力の向上を図る。	・社会情勢および社会の要望を考慮した授業計画を立案する。	A		・観点別評価の規準の設定およ
	理	・家庭学習習慣の定着に努め	・家庭学習課題を適宜与え、授業内容の予習・復習や家庭学習の習慣をつけさせる。	A		び主体的に学習に取り組む態度
	科	る。	・ICTを活用し、自ら情報を収集し学び、探究する力をつけさせる	A	A	の評価についての教科内での共
	7-1		・実験指導の充実を目指し、実験内容、方法等について、工夫改善および研修に努める。	A		有化。
						・基礎学力の定着。
		・体力の向上を目指す。	・体力テストを通し、生徒自身の体力を把握する。	В		・体力テストの数値から体つく
教			・単元として、体ほぐし運動を実施する。	В		り運動の工夫。
科		・運動技能の向上を目指す。	・各種目の特性を理解し、課題解決のための運動を行う。	В		・選択授業による生涯スポーツ
	体		・ルールや審判法を学ぶ。	В	В	へつながるような授業展開。
	育	・関心・意欲・態度の確立	・クラスマッチなどの体育的学校行事の企画運営を通して、運動の楽しさや喜びを味わえる	A		・体育施設でのICTの活用の工夫
		に努める。	ようにする。			0
			・自己の役割を把握し、公正、協力、責任などの態度を身につける。	В		
			・安全、健康に十分留意して活動する。	В		
		・心身の健康・安全に関心	・教科書以外の様々な資料も使用して授業を展開する。	В		・ICTの活用において更なる創意
	保	を持ち、自ら健康で安全	・単元毎に学習ノートを行わせることによって、理解を深める。	A	В	工夫。
	健	な生活を送るために必要	・単元によっては実践実習を行わせることによって理解を深める。	В		
		な事項を理解し、知識を	・定期考査、単元プリントを使って理解度を向上させる。	В		

		身につける。	・授業内容、方法等について教科内で工夫改善を図る。	В		
			・必要に応じて外部専門家による講義を開催する。	С		
		サゲナ亜灯上フトは大大	・美術については、課題を多面的に設定して、幅広く創造活動を体験することで、	A		・新型コロナ感染の対策をとり
	芸	・芸術を愛好する心情を育	感じる力、工夫する力、表現する力を養う。		Α	ながらの授業の工夫。
	術	み情操を養う。	・音楽については、音楽の基礎となる知識や技術などを習得させ、実際に活用できる能力を	A		・ICTを有効的に活用できるよう
			身につけさせる。			な授業の工夫。
		・基礎学力の向上を図る。	・授業を通して英語を読む (教科書、速読演習、暗唱大会原稿等)、聞く(音声CD、 リスニ	A		・模試や共通テストに対応でき
		・家庭学習の習慣をつける。	ング演習)、書く(作文、リテリング等)、話す(Q&Aやロールプレイ等)機会を増やし、4			る力を育成する手段の工夫。
		・積極的にコミュニケーショ	技能を統合的に育成する工夫をする。			・英検合格者数の増加と合格へ
		ンをとろうとする態度を養	・早朝や放課後に課外を実施することで基礎英語力の定着を図るとともに発展的な内容も扱	В		導く指導をより強化。
		う。	い、上位層の英語力向上を目指す。			・ICTを活用した授業をできるだ
教			・英語学習の動機づけと進路目標実現への一助として英検取得を推進し、特に2次試験対策	A	Α	け実施。
科			指導を積極的に行う。			・積極的に英語でコミュニケー
	外		・課題 (暗唱文・副教材等)を与えることで家庭学習の効果的な動機づけを図る。	В		ションを取ろうとする態度を育
	国		・1年間を通して週1回小テストを実施する。評価にも加味し家庭学習の習慣化を図る。	A		成するための指導を研究。
	語		・ペアワークやグループワークを利用しての音読活動やQ&A、発表等のコミュニケーショ			
			ン活動の工夫に努める。	A		
			・「論理表現Ⅰ」と「コミュニケーションⅡ(3年選択)」では少人数の利点を活かして、			
			英語でのコミュニケーションの機会を増やす。	A		
			・「Communication英語I及びCommunication英語II」ではALTと連携を図りながら、基本的な英語運用力を育成する。	A		
	家	・指導計画と指導内容の充実	・生徒の実態に応じた指導内容の精選と指導時間等の配分を工夫する。	В		・課題解決能力の育成および言
	庭	に努める。	・ワークシートや課題等の提出により学習成果を確認する。また、実験実習等を取り入れな	A	A	語活動の充実を図る教材の工夫

			がら学習効果の向上を図る。			
	-	・制作活動の工夫を図る。	・目標を持って取り組める教材を取り入れ、達成した喜びを体験させる。	A		・観点別評価規準の設定。
		・安全指導と事故防止に努め	・施設設備、用具等の点検を十分に行う。	A		
教		る。	・実習においては、コロナ禍における実習時の感染防止ガイドラインに従い、安全、衛生面			
科		చం	に留意して行う。			
	情	・生徒の多様な実態に対応	・自ら調べ、まとめ、発表する活動、話し合いや討論の活動などを通して、情報活用の	A	A	・高度化した教科書内容への適
	報	し、一人一人の個性を育て	実践力が高まるような場面の時間をより多く作る工夫をする。			応や大学入学共通テストへの対
	十以	伸ばしていく。				策の検討。
		・学習指導法の工夫と授業研	・ICT機器を活用した授業の指導法の研究、観点別学習状況の評価への取り組みを充実させる。	A		・ICT を効果的に活用した授業の
		究の推進	・授業の充実を図るためのシラバス(年間指導計画)を作成する。	A		研究。
教		・授業時間の確保	・出張、年休等における授業の確保(振替)に努める。	A	A	・観点別学習状況の評価法の研
務		・校内研修の充実	・人権教育等についての教職員研修会を充実させる。	A		究。
123			・中学校、地域との連携を図る。(学校説明会、中学校訪問、公開授業等)	A		・学年間での教材や指導法の共
		• 広報活動	・インターネットの活用を図る。(ホームページ等)	В		有。
			・学校案内、学校ポスター等刊行物の充実に努める。(中学校へのアピール)	A		
特		・学校行事等を通した帰属	・生徒を主体とした学校行事の企画・運営を行う。	В		・コロナ禍における学校行事を
別		・意識・協調性の涵養	・クラスマッチ等を通して成就感や達成感を体験させ、クラスの連帯意識を培う。	A	В	工夫し、生徒主体の運営を行う
活			・HR活動等を中心として、キャリアパスポートの適切な作成と活用を図る。	В		ことによる達成感・充実感の創
動		・部活動の活性化	・部活動の部員を確保するとともに活性化を図る。	В		出。
生		・基本的生活習慣の確立と規	・マナーアップ週間を利用して挨拶等の全般的なマナーの向上を訴える。	A		・日常の服装やスマートフォン
走		範意識の向上	・家庭と連携し、携帯電話・スマートフォンを正しく利用する態度の育成を図る。	В		の利用が正しくできるように教
指		・キャリア教育の充実	・年8回の服装指導で身だしなみの乱れを防ぐ。	В	A	員間の意思疎通や家庭との連携
導		・心の教育の充実	・教員間の連携を密にし、心に問題を抱える生徒の早期発見に努める。	A		を強化。
73		・交通安全教育の推進	・交通安全講話等を通し、特に自転車の交通安全を図る。	A		

	・高い目標へ向けた生徒の主体	・ 仕分が と 原 自 い 准 収 日 博 。 向 け ブ 奴 力 で き て と ふ 一 原 町 石 秋 め 准 収 相 秋 ・ 士 極 き (種 伝 幼) ア	Λ		・課外の受講希望者数は各教科
	・高い目標へ同りた生徒の主体 的な進路選択と教師の支援	・生徒がより良い進路目標へ向けて努力できるよう、個別面談や進路相談・支援を積極的に 行う。	A		・課外の受講布室有数は各教科 合計では目標をoverしている
	HJ/よど呼びい(C 秋叫V/ 入坂	・的確な各種進路情報を積極的に提供する。(進路情報誌、パンフレット、進路だより等)	Λ		が、出席率が減少傾向。
進		・ 的確な各種進路情報を積極的に提供する。(進路情報誌、ハンノレット、進路だより等)・インターンシップへの主体的参加を促す。	Λ		・講座内容の工夫。
			A B	А	・3年生の課外受講者数の減少
路		・平常課外や休業中課外への参加を促す。		Λ	・進路情報を確実に保護者へ届
指	佐谷松道の大 皮	・課外授業への主体的参加を促す。平常課外、休業中課外の量的、質的向上を目指す。特に	В		けるclassi活用の充実。
導	・進学指導の充実	3年生は参加者40人超を目指す。	_		いるClassi協用の元美。
		・各種模擬試験の積極的利用を図る。1、2年生は年間3回全員が受験し、3年生についても70人超	A		
		の生徒が受験するよう指導する。			
		・最後までしっかり学習する集団づくりの観点からも、共通テストを受験するように指導す	В		
		る(50人目標)。			
		・生徒・教職員からの図書購入希望を積極的に募り、より充実した図書選定に努める。	В		・図書委員会活動の活性化。
図	・学校図書館の整備の推進及	・図書館利用方法の簡略化を図り、より利用しやすい環境を整える。	A		・図書館利用者を増加させる方
書	び利用の促進	・図書館利用者(貸し出し数)の増加につなげるため、朝の読書週間と年間多読賞の事前	В	В	法の検討。
音		の呼びかけに力を入れる。			
ı		・図書委員会の活動を通年にすることにより充実させ、図書館の美化・整備に努める。	В		
/III		・清掃用具の整備をはかるとともにその整理に努める。	A		・学校周辺の清掃活動への
保	・学校とその周辺の美化と環	・地域住民を考慮し、学校周辺と通学路、後台駅~五台小学校までの清掃活動をHR単位で	В		HR参加促進。
健	境整備	実施し、美化意識の高揚を図る。		A	
厚		・教室・特別教室の美化、新型コロナ対策の徹底を図る。	A		
生		・各分担地域、場所の清掃の徹底を図る。	A		
涉	・PTA活動の活性化と家庭と	・PTA総会、研修会、校外指導等の各種行事への参加率のアップを図る。	В	В	・PTA主催行事の検討。
外	の緊密な連携関係の構築	・広報紙等の充実を図り、学校と家庭の連携に努める。	A		・家庭との連携強化。
情	・ICTの推進及び情報セキュ	・ICT機器を整備し、授業やHR運営においてICT技術を活用する。	A	А	・成績システムの運営。
報	リティ体制の構築	・情報セキュリティ体制を構築し、職員の啓蒙に努める。	A		・HPの運営。

					・情報機器の整備充実。
		・挨拶の励行と、きちんとした服装、言葉遣いを身につけさせる。	В		・元気な挨拶の励行。
	・基本的生活習慣の確立	・遅刻防止等、時間の厳守に努めさせる。	A		・個々の生徒の自己管理能力を
		・手帳やPCの活用により、活動や体験等をきちんと記録させ、自己管理能力を高める一助とする。	A		より高めるための指導の工夫。
	・基礎学力の定着	・予習、復習、課題学習等を中心として、家庭学習や自主学習に毎日継続して取り組ませ、			・家庭学習の習慣化を図る指導
		習慣化を図る。	В		の工夫。
		・ICTの活用により、自ら学び、探究する力を身につける。	A	_	・個々の生徒に自分の進路をよ
1		・課外授業や模擬試験等への積極的な参加を促す。	В	A	り具体的に考えさせるような
学	・特別活動への積極的な参加	・部活動や学校行事への積極的参加を促進し、活力ある学校生活を送らせる。	A		指導の工夫。
年	・進路目標の検討及び早期の	・個別面談、進路ガイダンス、大学見学会の実施及び的確な進路情報の提供等により、自己	Δ.		
	決定	の進路について考えさせ、早期決定の支援をする。	A		
	・「道徳」教育の確立	・生徒一人一人の豊かな心を育て、将来に向けて人生や社会を切り拓いていこうとする道徳	D		
		的実践力を高める。	В		
	・基本的生活習慣の見直し	・校則を遵守させ、規律ある生活態度を育む。			・生徒の自主的、自発的な行動
		・時間の厳守、挨拶の励行。	A		を促すような指導の工夫。
		・服装、みだしなみ、ことば遣いに注意させる。			・自己の向上心、校内外で競い
	・学力の定着と向上	・予習、復習、課題学習を確実に行わせ、日々の授業を大切にしながら、学習内容を確実に			合う姿勢を高め、目標達成に向
		定着させる。			けて努力できる生徒の育成。
2		・自主学習を毎日継続して取り組ませるとともに、学習の記録を毎日付けさせ、習慣化を図	В	A	
学		る。			
子 年		・ICTの活用により、自ら学び、探究する力を身につける。			
	・進路目標の決定と実現に	・校外模試、課外授業、各種検定、校外体験活動に積極的に取り組ませ、自分の実力を把握			
	向けての意識の高揚	し、能力の伸長を図る。	A		
		・自己理解を深めさせ、幅広い情報収集を通して、個性や能力にあった進路を見出す努力を			

		促す。			
	・特別活動や校外体験活動へ	・部活動、生徒会活動、学校行事、校外体験活動に積極的に取り組ませる。			
	の積極的な参加	・委員会活動、清掃、当番活動を通じて自主性や責任感を育成する。		_	
	・修学旅行を通した総合的	・団体行動を通して、協調性や責任感等を育成する。	A	Α	
	な学習	・旅行先の歴史や文化を学ぶとともに、平和についての考えを深める。			
	・進路を意識した生活の実	・挨拶の励行と、きちんとした服装、言葉遣いを身に付けさせる。	В		・1年間を通して、進路実現対
	践	・時間の厳守に努めさせる。マナーを身につけさせる。	В		策に対する生徒達の積極的な
3		・校外模試、課外授業、校外体験活動等に積極的に取り組ませ、進路目標の実現を図る。	В		取組への働きかけの必要性。(
学	・生徒一人一人の進路目標の	・家庭学習を充実させ、進路目標の実現を図る。	В	В	課外・面接指導など)
子 年	実現	・きめ細かい進路相談及び保護者との緊密な連携により、生徒全員の進路目標の実現を図る。	A		・進路決定後の頭髪・服装など
4					容儀の緩みを改善。
	・特別活動への積極的参加	・部活動、生徒会活動、学校行事に最高学年として積極的に取り組ませる。	A		
		・委員会活動、清掃、当番活動を通じて最高学年としての責任感を育成する。	A		
国	・日本や外国の文化に対す	・海外短期留学の推進を図る。	В		・コロナ禍が続いた場合の国際
際	る関心理解の深化と、他者	・海外からの留学生の積極的な受入の推進を図る。	С	В	交流機会の創出(今年度はカナ
交	を尊重する態度の育成	・インターネットを利用して、外国の高校などとの交流をし、国際交流の活性化を図る。	В		ダ大使館訪問)。
流					・インターネットを利用した国
					際交流等を工夫。
					・那珂市の交流行事への積極的
					な参加。
学習	・自主的、自発的学習の推進	・多目的学習館(六葉館)の利用を促進する。	В		・六葉館は18:30まで開館。
首 の	高揚と計画的、継続的学習の	・サテライト講座をはじめとする、共通テストへ向けた教材の利用を促進する。	В	В	・進学希望者の利用促進。
推進	習慣化	・小テストや家庭学習(宿題)の課題を課すことで、学習の習慣化を図る。	A		・課題 (小テストなど) を通じ
Æ					ての学習の習慣化。
V		・本校いじめ防止基本方針に基づき、いじめの未然防止、早期発見、早期解消に努める。	A		・教員研修の実施。

じ	・いじめの実態把握および	・教職員間の連携を密にして、生徒への声掛け等を積極的に行い、情報を共有する。	A	A	・学校生活調査や生徒への個人
め	いじめに対する適切な措置	・SNS等によるトラブルが起こらないよう、啓発及び情報の収集に留意する。	A		面談等を繰り返し行うことで
問		・生徒主体のいじめ未然が実践できるような手立てと支援を工夫する。	В		の未然防止。
題					

※評価基準(達成度) 【A】:100~80% 【B】:79~60% 【C】59~40% 【D】:39~20% 【E】:19~0%